

赤蔵ヶ池

(あぞがいけ)



ため池の概要

ため池の所在地
愛媛県久万高原町

ため池の特徴

赤蔵ヶ池は人里から離れた標高870mの場所にあり、周辺は雑木林に囲まれ、春は新緑、秋は紅葉、神秘的で深い碧色の湖面など様々な景観を楽しむことができます。

久万高原町の自然環境保全指定地となっており、希少な植物が生育し、自然環境保全の点でも、また古い歴史を持つ文化財としても貴重な存在です。

赤蔵ヶ池が造られた時期は定かではありませんが、古文書によれば、「鴨住ヶ池」「阿蔵ヶ池」あるいは「遊ヶ池」などと呼ばれ、1151年頃には既にその原形があったとされています。

また、文政年間(1800年頃)の文献には、平安時代に源三位頼政が「安曾布ヶ池(赤蔵ヶ池)」から出てきた妖怪「鵜(ぬえ)」を退治したという記録が残っている歴史的なため池です。

現在は沢渡地区の田畑約13haを潤しており、ここで栽培される米は「久万清流米ブランド」として、愛媛県はもとより全国へ出荷されています。池は、地域の高付加価値型農業の礎となっています。

関連情報

美川村自然環境保全指定地 赤蔵ヶ池

<http://www.kumakogen.jp/modules/taikenkanko/item.php?itemid=29>